

令和 3 年度かながわの地域日本語教育の取組【資料編】

	ページ
1 日本語学習支援実践者（リーダー的人材）研修 in 県央地域（チラシ）	1
2 日本語学習支援実践者（リーダー的人材）研修 in 湘南・県西地域（チラシ）	3
3 日本語学習支援に係る相談対応実績	5
4 「かながわでにほんご」月別アクセスデータ	6
5 かながわ地域日本語教育フォーラム（第1回 チラシ）	7
6 かながわ地域日本語教育フォーラム（第2回 チラシ）	9

日本語学習支援実践者 (リーダー的人材) 研修

参加無料

in 県央地域

外国人住民と地域社会の相互理解の場でもある日本語教室の魅力
を高め、地域の多文化共生の拠点として発展することを目指
して、研修を開催します。



第1回

日本語教室を魅力ある相互理解の場とするには？

日本語教室・日本語学習を通じた相互理解の場づくりについて、参加者がともに考え、
あわせて参加者同士のノウハウ・リソースの共有を図ります。

9月3日(金)
14:00~16:00

申込締切：8月29日(日)

内容

- 1) 講義「相互理解を深める「対話中心の活動」の実践について」
講師：吉田聖子氏（文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー）
- 2) グループワーク
「対話中心の活動」を実践するための工夫等について
- 3) 神奈川県の日本語事業の取り組み概要紹介及び情報提供

第2回

日本語教室が地域の多文化共生の拠点となるためには？

生活支援などあらゆるニーズの集中している日本語教室が多文化共生の拠点としてよりよい形で
継続・発展するよう、地域に関わる多様な主体とのネットワークを考えます。

9月14日(火)
15:00~17:00

申込締切：9月9日(木)

内容

- 1) 報告「地域に暮らす外国人住民の現状」
報告者：海老名市、(公財) かながわ国際交流財団
- 2) 事例紹介
水上ちとせ氏 (Women's Japanese Class 代表)
- 3) 参加者交流会
～地域日本語教育の“あるある” シミュレーションゲーム
ANADO (アナドゥ) を体験してみよう～
講師：神吉宇一氏 (武蔵野大学グローバル学部准教授
／文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー)

●対象：神奈川県内の日本語教室や国際交流協会等で日本語学習支援の活動をしている方

●場所：海老名市文化会館 会場地図は裏面をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、オンライン開催に変更する可能性があります。

●定員：20名 ※定員を超えるお申込みがあった場合、抽選とさせていただきます。

●申込方法：参加ご希望の方はメールにてお申込みください。

タイトルを「日本語学習支援実践者(リーダー的人材)研修申し込み」とし、メール本文に①氏名②電話番号③所属④参加を希望する回(第1回/第2回/両日参加)⑤オンラインになった場合の参加の可否をご記入いただき、nihongo_join@kifjp.org 宛てにお送りください。

【主催】神奈川県

【実施・お問合せ】(公財)かながわ国際交流財団 日本語事業担当 TEL: 045-620-0011/MAIL: nihongo_join@kifjp.org

文化庁令和3年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

講師・事例発表者

第1回

吉田聖子氏

文化庁 地域日本語教育スタートアップ
プログラム アドバイザー

「にほんごでつながる町づくり」を合言葉に、日本語ボランティアの育成に携わって40年。全国各地でその地域に適した日本語教室に関わる人材育成に携わっている。神奈川県在住。
著書「外国人と対話しよう!にほんごボランティア手帖」「同 すぐに使える活動ネタ集」

第2回

神吉宇一氏

武蔵野大学グローバル学部准教授/
文化庁 地域日本語教育スタートアップ
プログラム アドバイザー

2019年6月に成立した日本語教育推進法の早期成立のため、署名運動などに関わる。国の日本語教育推進に関する協議を行う文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員。神奈川県在住。本研修(第2回)で実施するワークショップ「ANADO」の作成にも協力者として関わっている。

第2回

水上ちとせ氏

Women's Japanese Class 代表

あやせ国際友好協会所属。2018年女性のための団体Ayase Muslim Women's Organization(通称:ムスリム女性の会)とWomen's Japanese Class(代表)を立ち上げ、綾瀬市や近郊のムスリム女性の生活・語学その他様々な支援を行っている。個人的なムスリム支援は20数年前より始まる。綾瀬市在住。

ANADOとは

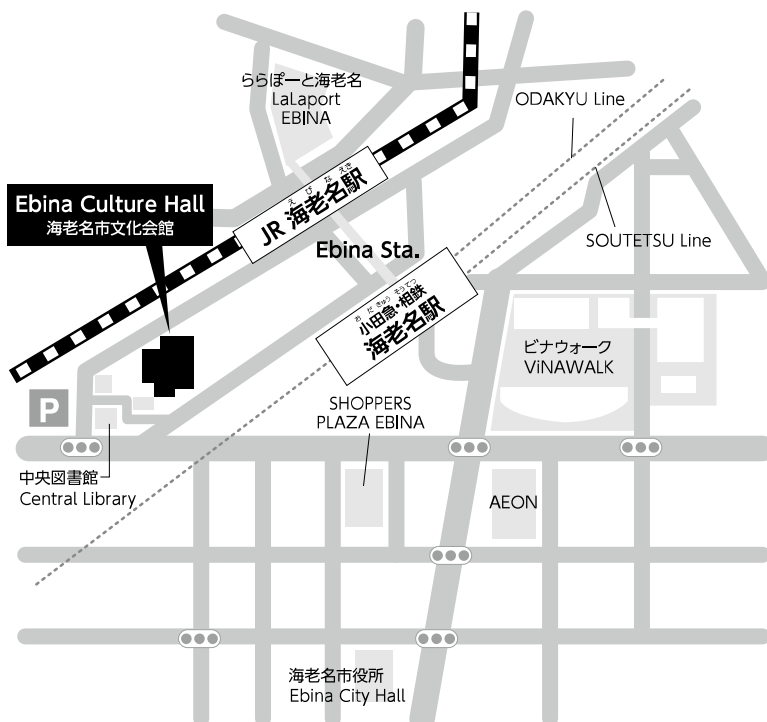
地域日本語教育の現場で起こりうる困難や葛藤等について、他のプレイヤーと意見交換をしながら、課題解決のプロセスを体験することを目的としたシミュレーションゲームです。

すべてのカードは「あな(ANA)ならば、どう(DO)しますか?」という2択になっており、参加者同士が意見交換を行いながら、ゲームを進めていきます。

(作成:ANADO作成チーム(公財)北九州国際交流協会)

会場

小田急線・相鉄線・JR相模線 海老名駅より徒歩5分



お知らせ

本研修と同様の研修を
湘南・県西地域で実施します。

(第1回)

11月21日(日) 予定

(第2回)

12月頃 予定

※一部講師変更あり

詳細はホームページにも掲載する予定です。

検索

かながわでにほんご

日本語学習支援実践者

参加無料

(リーダー的人材) 研修 in 湘南・県西地域

外国人住民と地域社会の相互理解の場でもある日本語教室の魅力
を高め、地域の多文化共生の拠点として発展することを目指
して、研修を開催します。



第1回

日本語教室を魅力ある相互理解の場とするには？

日本語教室・日本語学習を通じた相互理解の場づくりについて、参加者がともに考え、
あわせて参加者同士のノウハウ・リソースの共有を図ります。

11月21日(日)
14:00~16:00

申込締切: 11月16日(火)

内容

- 1) 講義「相互理解を深める「対話中心の活動」の実践について」
講師：吉田聖子氏（文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー）
- 2) グループワーク
「対話中心の活動」を実践するための工夫等について
- 3) 神奈川県日本語事業の取り組み概要紹介及び情報提供

第2回

日本語教室が地域の多文化共生の拠点となるためには？

生活支援などあらゆるニーズの集中している日本語教室が多文化共生の拠点としてよりよい形で
継続・発展するよう、地域に関わる多様な主体とのネットワークを考えます。

12月4日(土)
14:00~16:00

申込締切: 11月29日(月)

内容

- 1) 報告「地域に暮らす外国人住民の現状」
報告者：伊勢原市、(公財) かながわ国際交流財団
- 2) 事例紹介
鈴木史子氏（上智大学短期大学部 学生総合支援センター）
- 3) 参加者交流会
～地域日本語教育の“あるある”シミュレーションゲーム
ANADO（アナドゥ）を体験してみよう～
講師：神吉宇一氏（武蔵野大学グローバル学部准教授
／文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー）

●対象：神奈川県内の日本語教室や国際交流協会等で日本語学習支援の活動をしている方

●場所：（第1回）伊勢原シティプラザ（伊勢原市商工会館）（第2回）伊勢原市立中央公民館

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、オンライン開催に変更する可能性があります。

※公共交通機関のご利用をお願いします。

●定員：20名 ※定員を超えるお申込みがあった場合、抽選とさせていただきます。

●申込方法：参加ご希望の方は以下の申込フォームからお申込みください。

https://willap.jp/p/acc_4614/ls_shonan/



【主催】神奈川県

【実施・お問合せ】(公財)かながわ国際交流財団 日本語事業担当 TEL: 045-620-0011/MAIL: nihongo_join@kifjp.org

文化庁令和3年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

講師・事例発表者

第1回

吉田聖子氏

文化庁 地域日本語教育スタートアップ
プログラム アドバイザー

「にほんごでつながる町づくり」を合言葉に、日本語ボランティアの育成に携わって40年。全国各地でその地域に適した日本語教室に関わる人材育成に携わっている。神奈川県在住。

著書「外国人と対話しよう!にほんごボランティア手帖」「同 すぐに使える活動ネタ集」

第2回

神吉宇一氏

武蔵野大学グローバル学部准教授/
文化庁 地域日本語教育スタートアップ
プログラム アドバイザー

2019年6月に成立した日本語教育推進法の早期成立のため、署名運動などに関わる。国の日本語教育推進に関する協議を行う文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員。神奈川県在住。本研修(第2回)で実施するワークショップ「ANADO」の作成にも協力者として関わっている。

第2回

鈴木史子氏

上智大学短期大学部 学生総合支援センター
サービラーニング部門 サービラーニングセンター

当センターでは、同大学の在学生の活動として、秦野市近隣に在住の外国籍の子どもたちや市民を対象に、日本語学習や教科学習を支援している。教育委員会と連携して市内の学校で活動する「カレッジフレンド」と、公民館等で幼児から高校生、その家族を対象に日本語や教科学習をサポートする「コミュニティフレンド」の2つの活動を行っている。

ANADOとは

地域日本語教育の現場で起こりうる困難や葛藤等について、他のプレイヤーと意見交換をしながら、課題解決のプロセスを体験することを目的としたシミュレーションゲームです。

すべてのカードは「あな(ANA)ならば、どう(DO)しますか?」という2択になっており、参加者同士が意見交換を行いながら、ゲームを進めていきます。

(作成:ANADO作成チーム(公財)北九州国際交流協会)

会場

小田急線伊勢原駅より **伊勢原シティプラザ** 徒歩7分 **伊勢原市立中央公民館** 徒歩11分

※公共交通機関のご利用をお願いします。

※各回会場が異なりますので、お間違えのないようお願いいたします。



日本語学習支援に係る相談対応実績

1 相談件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
令和3年度	11	26	21	26	18	37	44	47	14				244	27.1
令和2年度	—	—	—	4	14	13	21	14	15	6	10	3	100	11.1

※ 3月は3月1日～10日までの実績

2 相談内容内訳

(1) 外国人当事者・家族等からの相談

(単位:件)

内容	教室・学校情報	教材情報	学習方法	その他	合計
令和3年度	133	1	6	7	147
令和2年度	40	1	0	4	45

※ 令和3年度は令和3年4月1日～12月31日までの件数、令和2年度は令和2年7月1日～令和3年3月10日までの件数

(2) 支援者からの相談

(単位:件)

内容	ボランティア希望	指導方法	教材情報	教室広報	教室運営	ボランティア研修	日本語事業(市町村)	その他	合計
令和3年度	7	7	4	2	10	7	14	46	97
令和2年度	3	2	1	0	1	5	8	35	55

※ 令和3年度は令和3年4月1日～12月31日までの件数、令和2年度は令和2年7月1日～令和3年3月10日までの件数

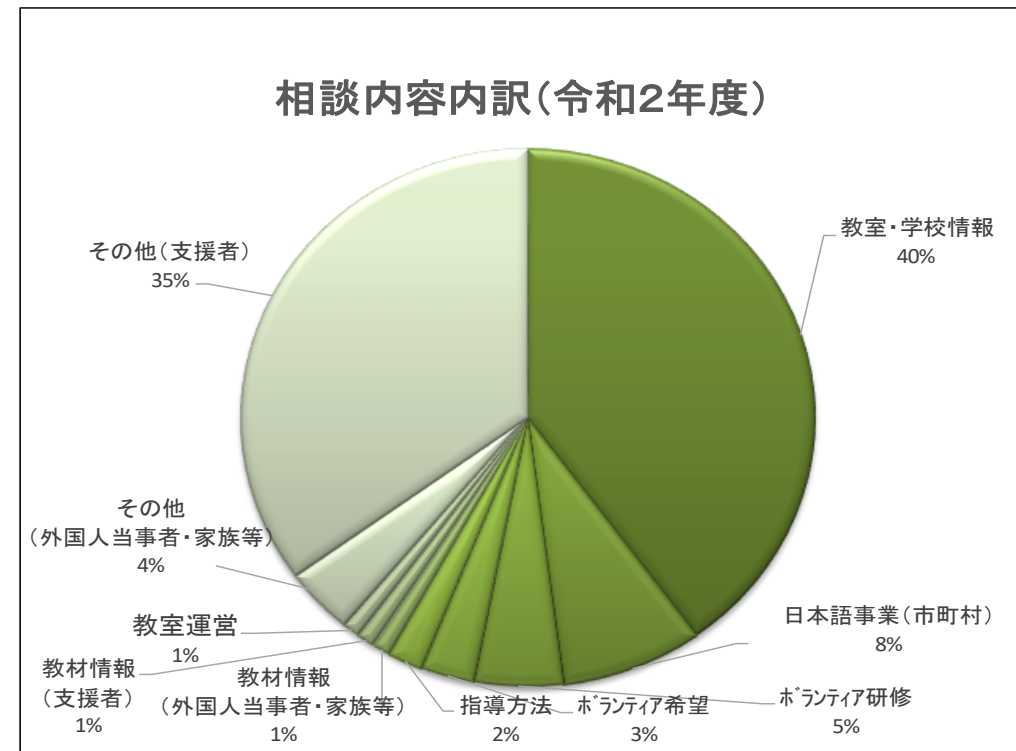
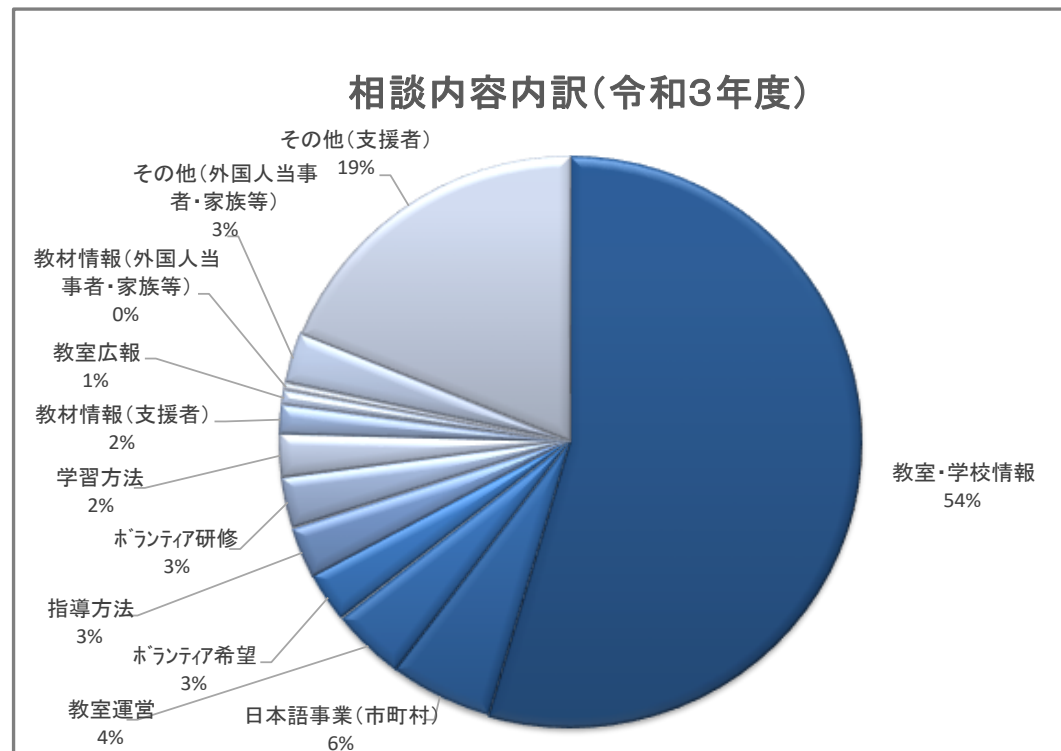
※ その他の内容例: やさしい日本語、子どもの教育支援、外国人の生活支援、日本語教師の派遣など

【参考】

日本語教育事業以外で神奈川県が設置している「多言語支援センターかながわ(委託先:(公財)かながわ国際交流財団)」における日本語教育に関する相談件数

令和3年度 445件(令和3年4月1日～12月31日まで)

令和2年度 389件(令和2年4月1日～令和3年3月31日まで)



「かながわでにほんご」月別アクセスデータ

	PV数	UU数	平均ページ 滞在時間(秒)
2020年8月	1,218	676	89
2020年9月	1,216	219	81
2020年10月	4,492	1,268	100
2020年11月	1,461	351	118
2020年12月	2,306	626	98
2021年1月	1,399	357	92
2021年2月	1,167	313	66
2021年3月	1,286	290	66
2021年4月	1,787	433	80
2021年5月	3,385	723	84
2021年6月	3,784	1,101	77
2021年7月	5,932	2,137	93
2021年8月	6,204	2,568	108
2021年9月	7,295	2,844	97
2021年10月	5,077	1,926	90
2021年11月	4,405	1,790	86
2021年12月	4,487	1,944	106
2022年1月			
2022年2月			
2022年3月			

※PV数＝ページビュー数（サイト内のページが表示された回数）

UU数＝ユニークユーザー数（特定の期間内にサイトを訪れたユーザーの数）

かながわ地域日本語教育フォーラム

～地域日本語教育に多様な担い手に関わるためには～

オンライン開催
参加無料



神奈川県は、多文化共生の地域社会づくりの一環として、地域日本語教育の総合的な体制づくりを進めています。

かながわの今後の地域日本語教育を皆様と一緒に考える機会となるようフォーラムを開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時

令和3年9月12日(日) 14:00～15:40

[Zoom]によるオンライン開催 視聴用ウェブページ入場可能時刻(13:30)

定員等

定員170名(無料)

※要事前申込 申込者への視聴用ウェブページURLのご連絡:9月10日(金)



内容

◆ 神奈川県の取組紹介(神奈川県)

◆ 基調講演 「地域日本語教育に多様な担い手に関わるためには」

講師 明治学院大学 教養教育センター 准教授 長谷部 美佳

◆ 事例発表 「さぼうと21学習支援室の取組」

講師 社会福祉法人さぼうと21 学習支援室チーフコーディネーター 矢崎 理恵

◆ パネルディスカッション

青少年から大人まで幅広い世代や、多様な分野の人材が関わりやすい日本語教室づくりについて、お話を伺います。

パネリスト 長谷部 美佳(明治学院大学 教養教育センター 准教授)

矢崎 理恵(社会福祉法人さぼうと21 学習支援室チーフコーディネーター)

藤浪 海(関東学院大学社会学部・専任講師、NPO法人ABCジャパン・アドバイザー)

進行 山内 涼子((公財)かながわ国際交流財団/地域日本語教育総括コーディネーター)

申込方法

申込フォームよりお申し込みください。

https://willap.jp/p/acc_4614/nihongokyouiku/



申込締切

令和3年9月8日(水)

ウェブで情報をご覧いただけます。

<https://www.kifjp.org/nihongo/forum>

主催

神奈川県

(実施:(公財)かながわ国際交流財団)

お問合せ

(公財)かながわ国際交流財団 日本語事業担当

メール:kifnihongo@kifjp.org TEL:045-620-0011



かながわ地域日本語教育フォーラム

～地域日本語教育に多様な担い手に関わるためには～

講師・パネリストのご紹介



長谷部 美佳

(明治学院大学 教養教育センター 准教授)

明治学院大学でボランティア学担当(社会学、多文化共生論、ジェンダー論が専門)。

インドシナ難民が多い、いちょう団地(横浜市)でのフィールドワークを約15年続けている。総務省「地域における多文化共生推進プラン」のあり方検討のために開催された「多文化共生の推進に関する研究会」の構成員。



矢崎 理恵

(社会福祉法人さぼうと21 学習支援室チーフコーディネーター)

日本に暮らす難民等定住外国人の自立支援の活動を続ける「社会福祉法人さぼうと21」で、学習支援室チーフコーディネーターを務める。(http://support21.or.jp) 大学卒業後、JICA青年海外協力隊日本語教師としてフィリピンに赴き、日本語教師としてのキャリアをスタートさせる。40代半ばで、「そろそろ「社会に恩返し」を実行に移さねば」と、働く場を総とっかえ。「教えるヒト」から「学びの場を紡ぐヒト」に。現在は、約100名のボランティア、約100名の学習者と共に「学習支援室」の活動を展開。喜怒哀楽に満ち溢れた日々を過ごす。モットーは「OPEN & SHARE」。キーワードは「想像力」と「寛容性」。2020年より東京都つながり創生財団理事。



藤浪 海

(関東学院大学社会学部専任講師、NPO 法人 ABC ジャパンアドバイザー)

横浜市鶴見区で日系ブラジル人が設立し外国人支援に取り組むNPO法人ABCジャパンで、2012年からボランティアとして活動。外国につながる子どもの日本語・教科学習や保護者の日本語学習の支援を中心に、外国につながる子どもの大学進学ガイダンスや地域との交流イベントなどで、子どもたちのサポートを行う。現在は、ボランティア活動が続けつつ、その経験をもとに大学で移民の子どもの教育をテーマとした授業も行っている。



かながわ地域日本語教育フォーラム

～日本語学習の支援を通して外国人が働きやすい職場を考える～



神奈川県では、多文化共生をめざし、地域日本語教育の取組を進めています。外国人が「働きやすい職場」について、日本語教育を通じた企業や行政、地域とのつながりを考える機会となるようフォーラムを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

日時 2022年1月23日(日) 14:00～16:00

Zoomによるオンライン開催(視聴用ウェブページ入場時刻:13:30)

定員等 定員100名(無料) ※要事前申込

申込者への視聴用ウェブページのご連絡日:2022年1月20日(木)

**オンライン開催
参加無料**

内容

◆ 事例発表

(1) 商工会議所が専門学校と連携して実施する企業の日本語支援

横須賀商工会議所 総務渉外課 荻原 美香 氏

学校法人情報文化学園アーツカレッジヨコハマ 教育推進室 日本語学科 講師 宮下 泉美 氏

(2) 産業界と連携した横浜市の日本語教育の取組

(公財) 横浜市国際交流協会 多文化共生推進課 門 美由紀 氏

(公財) 横浜企業経営支援財団 経営支援部 国際ビジネス支援担当 高山 現人 氏

◆ パネルディスカッション

日本語教育における県内の労働分野での取組や課題、それぞれの役割

パネリスト 神吉 宇一 氏(武蔵野大学 グローバル学部准教授/かながわ国際政策推進懇話会専門委員会(地域日本語教育) 委員)

荻原 美香 氏(横須賀商工会議所 総務渉外課)

宮下 泉美 氏(アーツカレッジヨコハマ 教育推進室 日本語学科 講師)

門 美由紀 氏((公財) 横浜市国際交流協会 多文化共生推進課)

高山 現人 氏((公財) 横浜企業経営支援財団 経営支援部 国際ビジネス支援担当)

進行 藤分 治紀 氏((公財) かながわ国際交流財団 地域日本語教育コーディネーター)

申込方法 申込フォームよりお申し込みください。

https://willap.jp/p/acc_4614/nihongokyouiku2/



申込締切

2022年1月17日(月)

ウェブで情報をご覧いただけます。

<https://www.kifjp.org/nihongo/forum>

主催 神奈川県

実施:(公財) かながわ国際交流財団

お問合せ (公財) かながわ国際交流財団 日本語事業担当

メール:kifnihongo@kifjp.org TEL:045-620-0011



かながわ地域日本語教育フォーラム

～日本語学習の支援を通して外国人が働きやすい職場を考える～



発表団体・パネリスト プロフィール



横須賀商工会議所

商工会議所は、その地区内における商工業の総合的な発展を図り、兼ねて社会一般の福祉増進に資することを目的とし、地域の商工業者の意見を集約し、政策提言、経営支援、地域振興等、様々な活動を行っており、現在、全国515商工会議所、122万会員を有している。

横須賀商工会議所は、1928年11月に創立され、地域企業の持続的発展に向けた支援をはじめ、地域の特性を活かし、米海軍との取引支援や英語版の地域店舗ポータルサイトの運営など様々な独自事業を展開している。

学校法人情報文化学園アーツカレッジヨコハマ

横浜市にある専門学校。ゲームクリエイター学科、デザイン学科、情報処理科があり、実践的なカリキュラムの数々と効果的な指導方法により学生をサポートしている。また、留学生を対象とした国際情報ビジネス学科では、約200名の留学生にビジネス教育およびIT、マネジメント、ホテルサービスの専門教育を行い、日本での就職を支援している。

2020年4月には日本語学科を新設し、留学生のみならず「生活者としての外国人」に対する日本語教育にも力を入れている。

公益財団法人横浜市国際交流協会 (YOKE)

横浜市の外郭団体、総務省認定の地域国際化協会。横浜の国際都市としての発展に寄与することを目的に、「横浜市多文化共生総合相談センター」の運営、市内国際交流ラウンジとの連携など、多文化共生のまちづくりや国際協力・交流活動を推進する事業等を行っている。地域日本語教育の拠点「よこはま日本語学習支援センター」を設置(横浜市委託)、日本語教室等への支援やモデル事業の実施、職場でのコミュニケーション円滑化を目指し企業と連携した日本語教室の開催等、横浜の地域特性を踏まえた日本語学習支援・体制づくりを進めている。

公益財団法人横浜企業経営支援財団 (横浜市中小企業支援センター)

横浜市長から指定を受けた市内唯一の「中小企業支援センター」として、中小企業等の経営基盤の安定・強化をはじめ、経営革新、新事業創出、創業の促進を図るため、総合的かつ継続的な支援事業と産業関連施設の管理運営を実施し、横浜経済の活性化と地域社会の健全な発展に寄与することを目的としている。

神吉 宇一 氏

(武蔵野大学 グローバル学部准教授/かながわ国際政策推進懇話会専門委員会(地域日本語教育) 委員)

2019年6月に成立した日本語教育推進法の早期成立のため、署名運動などで関わる。国の日本語教育推進に関する協議を行う文化審議会国語分科会 日本語教育小委員会委員。神奈川県在住。